

駒千代の丘

笑顔と意欲いっぱい チーム岡中



岡本中学校だより

令和3年6月16日(水)

6月号



家庭・地域と共に育む 自立・共生・貢献 ～社会で活躍する人材の育成～

6月も中旬を迎えました。夏のような気温が続き、コロナ禍でのマスク着用の中で、熱中症への配慮も必要となり、エアコンのありがたさを感じる日が多くなってきました。

おかげさまで、第74回体育祭も無事に実施することができました。明日からは、第1回定期テストが始まります。1年生にとっては、中学校に入学して初めての定期テストです。できる限りの準備をして、実力が発揮できることを願っています。

第74回 体育祭 学び続ける生徒&学び続ける教師&学びを支える環境

5月22日(土)、第74回体育祭を開催しました。今年のテーマは「**我らが主役！熱い火華をまき散らせ**」でした。子どもたちの強い思いと情熱を感じながら、練習に取り組んできました。



当日早朝は雨が残り、グラウンド整備等を行い、天候の回復を待って、9:20から開会式を行いました。トラックの回復を考慮し、一部種目の入れ替えも含め、保護者の皆様にご理解とご協力をいただきありがとうございました。その後は、子どもたちの強い思いが天に通じたのか、天候は回復し、熱中症の心配もなく、各種目に精一杯取り組むことができました。



学年種目優勝

- 1年 台風の目 A組
- 2年 綱引き B組
- 3年 Δカデリレー D組

学級対抗!レー優勝

- 1年A組 2年A組 3年B組

選抜!レー優勝

- 1年B組・2年B組・3年D組ブロック



- みんなでジャンプ優勝** 1年A組 2年C組 3年A組
最高回数 1A 24回 2B 45回 3D 56回

総合の部

- 1年 優勝 A組
- 2年 優勝 B組
- 3年 優勝 D組 準優勝 B組

全国学力・学習状況調査 学び続ける生徒&学び続ける教師

5月27日(木)の午前中、全国の中学3年生を対象として2年ぶりに全国学力・学習状況調査が実施されました。教科は国語と数学、それに質問紙調査を行いました。解答(回答)用紙はすべて回収され、文部科学省の委託した民間機関において採点や集計が行われます。

今後、調査結果の提供があり、個人票が提供されます。結果については、学校における生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。

ネットモラル教室 学び続ける生徒&学びを支える環境

6月1日(火)、教育ネットより講師をお迎えして、2時間目は1年生、3時間目は2年生、4時間目は3年生を対象として、ネットモラル教室を実施しました。

岡中だけでなく、全国の小・中学校で問題になっている、SNS上でのトラブルからのいじめや個人情報の流出の危険性について、参加体験型の講演を通して学ぶ機会としました。

各ご家庭におきましても、「ネットモラル」について話題としていただき、正しいネット活用について、家族で学ぶ機会としていただきますようお願いいたします。



評価研修会 学び続ける教師&学びを支える環境

6月10日(木)、南足柄市教育委員会の内藤指導主事を講師として、教員対象の評価研修会を実施しました。今年度から新しい学習指導要領が全面実施となり、各教科は、共通する3つの観点により評価されることとなりました。これを受け、岡本中学校においても、適切な学習評価・評定を実施していくために、講師を招いて研修会を実施したり、教科部会で話し合ったりしながら研修を進めています。

私たちの研修は「学び続けるものだけが教えることができる」という考えが根底にあると考えます。教職員も学び続けています。

岡中生の活躍 岡中生の活躍です。

- 第67回全日本中学校通信陸上競技神奈川県西部地区予選大会兼第69回西湘地区中学校対抗陸上競技大会
 - ・男子共通400m 2位 53秒06 ○○ ○○さん
 - ・女子共通走高跳 8位 1m35 ○○○○さん
 - ・女子1年100m 2位 13秒74 ○○ ○○さん
 - ・男子1年走幅跳 6位 4m23 ○○ ○○さん
- 令和3年度南足柄市教育委員会表彰
 - ○○さん 令和2年度第15回彩の国杯全国中学生空手道選抜大会神奈川県予選において優秀な成績をおさめたため
- 令和3年度神奈川県中学校バレーボール選手権大会 男子の部 ベスト8

【校長室の窓から】

第74回体育祭が終わりました。コロナ禍が続き、多くの学校で学校行事について見直しが行われています。近隣の中学校では体育祭の種目を絞り込んで午前日程とし、昼食後は振り返りと片付けを行う形式が定着しました。

岡本中学校では、修学旅行を延期しました。行先については、修学旅行の意義や目的を考えて、関西方面を予定していますが、県内では、昨年多くの学校が中止となった経緯もあり、方面を変更してでも「実施」することを最優先としている傾向があります。

昨年は約2か月間、全国の公立小中学校が臨時休校となり、授業日数が少ない中で、多くの学校行事が中止となりました。しかし、学校行事は、子どもたちだけでなく、教職員にとっても貴重な学びの場です。今回の体育祭をとおしても、たくさんのドラマがあり、生徒同士の協力性や生徒と教職員の信頼関係について成長が見られました。

コロナ禍が続く中ですが、学校にとっては、あらためて学校行事の在り方や意義について考えるきっかけとなっています。本当に必要なものは何か、悩むことも多い中ですが、ゆとりをもって質の高い教育活動をするためには、学校の「当たり前」をアップデートする必要があると感じています。

